

発表日：2016年2月29日

DLE 企画・プロデュースの映画「珍遊記」、2月27日ついに公開 台湾、香港、マカオ他 世界8つの国と地域に販売決定！

株式会社ディー・エル・イー（本社：東京都千代田区、代表取締役：椎木隆太 以下、DLE）は、DLE が企画・プロデュースする映画「珍遊記」を2月27日に劇場公開し、台湾、香港、マカオ他、世界8つの国と地域への販売が決定したことをお知らせいたします。その他、世界各国での販売も予定しております。

【映画「珍遊記」概要】



©漫☆画太郎／集英社・「珍遊記」製作委員会

【「珍遊記」概要】

主演：松山 ケンイチ

監督：山口 雄大

原作：漫☆画太郎「珍遊記～太郎とゆかいな仲間たち～」(集英社刊)

脚本：おおかわら / 松原 秀

企画・総合プロデュース：DLE

製作幹事：DLE

配給：東映

公式サイト：<http://www.chinyuuki.com>

©漫☆画太郎/集英社・「珍遊記」製作委員会

2016年2月27日(土)より、新宿バルト9 他にて全国ロードショー！

【DLEの実写映画プロデュースの目的】

DLEは唯一無二のCool Japanカンパニーとして、実写映画も含めた様々なメディアに応じた映像コンテンツのプロデュースへと事業領域を拡大していきます。DLEが幹事として製作委員会を組成するほか、映像コンテンツへの出資を積極的に行っていきます。特に実写映画プロデュースでは、下記の3つを大きな柱として考えています。

(1) 地方創生事業との連動「秘密結社 鷹の爪」や「パンパカパンツ」等を通して、DLEがキャラクタービジネスで地方都市との連携事業で培ってきたノウハウ、ネットワークを実写の映像ビジネスへの活用を広げて、地方都市の公共機関や民間企業と連携しながら、映像ビジネスを絡めた地方創生事業として推進していきます。

(2) キャラクタービジネスによる多面的な収益スキーム、DLEの強みである、キャラクタービジネスを取り入れていくことにより、特に実写の映像ビジネスで陥りやすい、映像販売でしか収益を見込めないスキームではなく、多面的な収益モデルを目指します。さらに、キャラクターを実写映画で活用することで従来のアニメファン層よりも幅広い層へのリーチを目指します。また、映画等ではキャラクターの宣伝起用も盛り込むことで、企業広告等、宣伝プランの幅を広げた、映像プロデュースを推進していきます。

(3) コンテンツ大国「日本」に眠る原作、カルチャーを国内外に向けてリプロデュースそのまま映画化してもなかなか現代のユーザーへ届けることが難しいIP(原作等の知的財産)を、現代の人が楽しめるコンテンツとして、DLEがリプロデュースすることで国内外への付加価値を高め、過去作品の再展開を求めているIPホルダーの要望に応じていきます。

■株式会社ディー・エル・イー 会社概要

IP(著作権や商標権等の知的財産権)を開発・取得し、幅広い事業領域へサービスを提供する総合エンタテインメントカンパニー。動画広告等のマーケティングサービス提供、スマートフォンアプリの企画開発、映画・TV・ネットメディア等の映像コンテンツ制作等、時流に乗ったサービスを迅速かつ低コストで量産することで、2014年に東証マザーズへ上場。

アニメ・キャラクター(秘密結社 鷹の爪、パンパカパンツ等)やファッション・ビューティー(東京ガールズコレクション)といった日本が誇れるエンタメコンテンツを包括的に保有する。

本件に関するお問合せ：株式会社ディー・エル・イー (<http://www.dle.jp/>)

TEL：03-3221-3980 FAX：03-3221-3690 email：ir@dle.jp 担当：岡部